

# 財団法人仏教伝道協会 平成21年度事業報告書

平成21年4月1日より平成22年3月31日に至る財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。(各項目番号は寄附行為に定めた事業の番号である。)

## 1. 事業一：仏教聖典の現代語訳、外国語訳ならびにそれらの刊行

### (1) 「仏教聖典」各国語訳とその出版に関する事項

人類の平和を目指し全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳を進めている。本年度はモンゴル語(モンゴル文字)、ブルガリア語を刊行し、翻訳言語数は46カ国語となった。また聖典を現代に即した内容にするため、フランス語、イタリア語等主要言語の改訂を進めている。

### (2) 「仏教聖典」の普及に関する事項

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動は、国内では新規ホテル、病院約110軒を加え約22,000冊寄贈補充した。また海外では新たに約319軒のホテルより申し込みを受け62カ国のホテル等に約50,000冊を寄贈し、内外合せて約12,000軒のホテル137万室に至った。

教育や伝道教材および入学ならびに卒業記念品として「仏教聖典」を頒布した。全国の寺院幼稚園、保育園、高等学校、大学で「和文仏教聖典」を約23,000冊、「和英対照仏教聖典」を約11,000冊活用していただいた。

印刷と製本を経ずに提供する、電子書籍版の『仏教聖典』として、アップル社 iPhone並びにiPod touch用のアプリケーションを発売すべく準備を進めている。日本語版と英語版の二つの『仏教聖典』を電子書籍化する。

### (3) 「大蔵経」の英訳編集とその刊行に関する事項

仏教思想をさらに多くの人びとに弘めるべく、普及に努めている「仏教聖典」の原典である「大蔵経」の英訳事業は、139典籍のうち43典籍が翻訳進行中で、その他の96典籍は部分訳を含めて、すでに受領した。受領典籍のうち69典籍は、日本の英訳大蔵経編集委員会と米国バークレー市の仏教翻訳研究センターに設置の英訳大蔵経出版委員会との協力体制のもと、英訳大蔵経として出版、本年度は「坐禅三昧経」等を刊行し、既に41巻が出版された。また、本年度より沼田センターホームページにて「妙法蓮華経」他12典籍を公開している。

2. 事業二：仏教講演会、仏教聖典講座等の開催

(1) 世界の主要大学に仏教講座開設に関する事項

学問や教育の面から仏教を伝えるべく、海外15の大学に基金を寄付し、その基金による沼田仏教講座を本年度は次の通り開講した。

開講学校名	教授名	講座名
カリフォルニア大学 パークレー校	Christian Luczanits 教授 (ウィーン大学)	「チベット仏教美術」 公開講座：「未来永劫への近づき：クシャ時代の菩薩と弥勒」
ハーバード大学	Shrikant Bahulkar 教授 (高等チベット学中央研究所)	「Kalacakra タントラ」
シカゴ大学	Matthew Kapstein 教授 (シカゴ大学)	(1) 「チベット宗教学の紹介」 (2) 「仏教哲学書読解」 (3) 「仏性」
スミス大学	Jamie Hubbard 教授 (スミス大学)	(1) 「幸福：仏教心理学からみた善人の理解」 (2) 「仏教思想における諸問題：さとり」 公開講座：「日本仏教との出会い」
ハワイ大学	09 - 10年度はプログラム無し	
米国仏教大学院	Richard K. Payne 教授 (米国仏教大学院)	「宗教学」 Pacific World Journal, Third Series, No.9 出版
	Steve Jenkins 教授 (ワグナー大学)	公開講座：「菩薩の理念に基づく慈悲の暴力・拷問・戦争」
	Daniel Veidlinger 教授 (カリフォルニア州立大学チコ校)	公開講座：「チベット仏教における言語の役割の変化」
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	Luis Gomez 教授 (ミシガン大学)	公開講座：「アッタカヴァッカの再考：智慧と寂静の間」
	Andrew Quintman 教授 (エール大学)	公開講座：「文学的遺物としての伝記： チベット伝記文学におけるイメージ・銘刻・神聖化」
	Hwansoo Kim 教授 (デューク大学)	公開講座：「韓国仏教は裏切られたのか？： 1910年にWonjongが日本の曹洞宗に試みた関係」
	山田奨治 教授 (国際日本文化研究センター)	公開講座：「暗闇における光：日本の禅と西洋」
	Melanie Malzahn 教授 (ウィーン大学)	公開講座：「トカラ語解読から100年」
	Rhi Juhyung 教授 (ソウル大学)	公開講座：「ガンダーラ仏教画像の探究：細分化の考察」
	Ryan Bongseok Joo 教授 (ハンブスフィア大学)	公開講座：「西洋から逆流： 現代韓国の青い目を持つ禅僧・ヴィパッサナ瞑想・仏教精神療法」
	Lewis Lancaster 教授 (UCパークレー名誉教授)	公開講座：「韓国仏教経典からみる観念の認識パターン：人文科学」

トロント大学	Jin Hua Chen 教授 (プリティッシュ・コロンビア大学)	公開講座：「中国唐時代における密教の伝統」
	Michael Como 教授 (コロンビア大学)	公開講座：「古代日本における僧侶のスキャンダルとその汚名回復」
	Christian Luczanits 教授 (ウィーン大学)	公開講座：「未来永劫への近づき：クシャ時代の菩薩と弥勒」
	川並 宏子 教授 (ランカスター大学)	公開講座：「ミャンマーにおける阿羅漢のカリスマ性と僧侶のモラル」
	Will Tuladhar-Douglas 教授 (アバディーン大学)	公開講座：「多様な呼称を持つことの意味： ネパールの神の特徴」
	Alexis Sanderson 教授 (オックスフォード大学)	公開講座：「パーラ朝仏教におけるヒンドゥー教(シヴァ派)の影響」
	Naresh Man Bajracharya 教授 (トリブバン大学)	公開講座：「ネパール仏教のDasakarma儀礼の紹介」
	Alicia Turner 教授 (ヨーク大学)	公開講座：「意志・行動・個性： 植民地時代のビルマにおけるZediyingana Footwear Debate」
	Allan Grapard 教授 (UCサンタバーバラ校)	公開講座：「三次元の曼荼羅山とは何か」
マギル大学	川並 宏子 教授 (ランカスター大学)	(1)「東南アジアの仏教：サンガと国家」
		(2)「歴史の中の仏教：ミャンマーにおける社会的正義と政治的活動」
沼田仏教学術会議：仏教とイスラム教		
カルガリー大学	09 - 10年度はプログラム無し 08年7月、Leslie Kawamura教授が正式な沼田仏教講座教授に就任。	
オックスフォード大学	Vesna A. Wallace 教授 (オックスフォード大学)	(1) インド・チベット・モンゴルの仏教 (2) 歴史・社会の中の仏教 沼田プロフェッサー就任講演「仏陀とモンゴル」
ロンドン大学	Michael Pye 教授 (マールブルク大学)	「仏教の概念」
ライデン大学	Richard P. Hayes 教授 (ニューメキシコ大学)	「仏教における10の哲学的問い」 講読：サンスクリット文献講読「阿毘達磨俱舍論」
ウィーン大学	Michael Hanhn 教授 (マールブルク大学)	「インド仏教文献にみられる特徴」 講読：「金光明経」講読
ハンブルグ大学	09 - 10年度はプログラム無し	

### 3. 事業四：仏教研究学生に対する奨学金の支給

#### (1) 奨学金の支給

仏教の学術振興に資するため、日本に於いて仏教研究に従事する海外からの学者・研究者または学生に対して給付する奨学金を設け、本年度はドイツ人研究者・ステファン・パウムス氏( 佛教大学研究員)、イタリア人研究者・ジュリアナ・マルティニ女史( 創価大学研究員)、スリランカ人研究者・デニヤウェ・パンナロカ師( 九州大学博士課程) に支給した。

#### 4. 事業七：内外仏教諸教派との協力交流および他宗教との協力等目的達成に必要と認める事業

##### (1) 仏教伝道文化賞の贈呈に関する事項

仏教の高揚と啓発を目指し、仏教伝道に貢献された方がたを顕彰するため、第44回仏教伝道文化賞の贈呈式を、平成22年3月18日に挙行了した。

文化賞B項(文芸・美術・著述・音楽・評論・その他)は、絵画「合掌童子」などを描き続け、多くの人に仏心を伝えた功績により佐久間顕一氏に、功労賞は長年にわたり仏教音楽の研究、向上、普及に尽力した功績により、飛鳥寛栗師に贈られた。

##### (2) BDK無限プロジェクト

これまで膨大な時間と労力を要していた資料収集を効率化し、またさらなる仏教研究の発展への大きな貢献を目的とし、英語を中心とする仏教研究資料を誰もがインターネット上で閲覧できるようにデータベース化する事業「BDK無限プロジェクト」を支援。UCバークレー校仏教学教授 ダンカン・ウィリアムズ氏主宰の公益法人(米国デラウエア)に平成20年より10年計画でこのプロジェクトに資金援助を継続中。平成21年9月には、日本仏教分野のデータベース化という第一段階完成のデモンストレーションがUCバークレー校にて披露された。なお、第一段階の一般公開は、平成22年以降になる。

##### (3) 実践布教研究会開催について

5月18日～5月20日の2泊3日間、「布教伝道」をテーマに伝道者としてのあるべき姿を学ぶため、今回は虚空蔵菩薩を取り上げ、全国より若い僧侶を中心に64名が参集、臨済宗建長寺派大本山建長寺を会場に第39回実践布教研究会を開催した。1日目に孝道教団を見学し、2日目は臨済宗建長寺派管長 吉田正道先生の提唱「大覚禅師語録」、臨済宗建長寺派教学部長 永井宗直先生「布教伝道～虚空蔵菩薩に学ぶ～(無量の智慧を現代社会にどう活かす)」、作家・妙心寺派現代宗学委員 玄侑宗久先生「禅的な生き方」、東京大学名誉教授 養老孟司先生「現代社会と仏教」をテーマにそれぞれ講話をいただいた。また「今日の葬儀(仏事)を考える」をテーマに分科会を行い、現代の布教伝道に対する僧侶間の活発な意見交換が行われ、宗派を越えて互いに親睦を深めるとともに研鑽を積んだ。

##### (4) 宗教教育教材の施本刊行について

新々みちしるベシリーズ、一日一訓カレンダー「みちびき」を刊行。カレンダー解説書 新々みちしるべ『みちびき』を教化教材として刊行、全国の寺院に頒布した。

また、松林宗恵師の伝記や法話を含む仏教講話集『まことしやかに さりげなく』(仮題)を仏教伝道文化賞選定委員の大住広人氏により執筆、編集中である。

##### (5) 内外の宗教団体・学術団体等との交流に関する事項

仏教伝道に関する助成については、本年度は主に以下のような法人・団体に対して金額の助成を実施した。

浅草寺

龍口寺

故井上信一氏「心の糧セミナー」

財団法人大館鳳鳴高等学校振興会

学校法人安田学園

宗教法人恵光寺  
東京親鸞会  
南無の会  
財団法人全国教誨師連盟  
財団法人東方研究会  
日本印度学仏教学会

( 6 ) 仏教伝道拠点の拡充に関する事項

仏教普及活動のための伝道拠点の維持、管理を行い、これを継続する。

5 . 仏教伝道センタービル活用に関する事項

- ( 1 ) 会議室使用状況            592件
- ( 2 ) 駐車場使用状況           月極 12台

以 上